

もえるごみの水切りをしましょう



もえるごみの半分は水分です。家庭からの「生ごみ」を捨てるとき、一日一世帯で大きじ3杯の水切りをすることで、町全体で年間90㌧のもえるごみを減らすことができます。

もえるごみ減量へのひと工夫を心がけてください。今回は、生ごみ減量のポイントをお知らせします。

生ごみ減量のポイント

- 1 まぐせ、ごみを出さない
買い物上手になつて、買った材料を使い切るよう心がけましょう。
- 2 食べ物をたいせつにし、残さず食べましょう。
- 3 三角コーナー（水切りネットなど）を利用し、捨てる前にも一度手やペットボトルの底などで水切りをします。
- 4 スイカやメロンなど水分の多いものは、細かくすることで水切りしやすくなります。

- 「生ごみ」をコンポストなど資源となります。
- 野菜は、最初に使えない部分を切り落としてから、洗いましょう。
- 食べ物をたいせつにし、残さず食べましょう。
- 「生ごみ」は堆肥化することで資源となります。
- 堆肥化には土を用いるコンポスト容器や電動式の生ごみ処理機を使う方法があります。
- 電動式生ごみ処理機で処理をすると、ごみの量は処理前の7分の1から10分の1になります。堆肥として使わなくても生ごみの減量に役立ちます。

町では電動式生ごみ処理機の購入費の一部を補助しています。
補助金額
町予算の範囲内で購入費の2分の1（上限3万円）を補助します。
対象者
町内に1年以上住所を有しているかたなど

種類	バイオ式	乾燥式
処理方法	バイオ菌の働きで生ごみを分解し、堆肥化し、ごみの容量を減量します。	温風で生ごみを乾燥させて、ごみの容量を減量します。
その他	製品によって電気代、保守・管理経費に違いがあります。購入店舗でご確認ください。	

もえるごみの量が減ることで、ごみ処理施設の延命化や、二酸化炭素の削減にも役立ちます。また、これから暑い季節は、臭いの発生も抑えられ、ごみ袋が軽く、ごみ出しも楽になります。

最後のひと手間がもえるごみの減量につながります。

もえるごみの減量化・資源化にご協力ををお願いします。

もえるごみの量が減ることで、町も協力体制をとることができます。ご理解とご協力をお願いします。

生ごみを減量すると



①穴あきの袋を使ってぎゅっと絞る



②三角コーナーでぎゅっと押す

水切りモニターを募集

水切り器には二つの使い方があります。

町では、生ごみの水切りを実践していただくモニターを募集しています。写真の水切り器（水切りダイエット）をお試しください。後日、使用した感想などを教えていただきます。応募をお待ちしています。

※対象は町内の世帯です。

（先着順で1世帯1個）

環境防災課窓口で受付・配布

しています。

ご活用ください！電動式生ごみ処理機補助制度

申請書に領収書、保証書などを添えて環境防災課へ提出してください。詳しく述べは環境防災課までお問い合わせください。

十文字橋復旧状況



車道部の橋桁は工場で作られています

橋脚現れ、12月完成予定



4段のうち2段目で姿を現した橋脚。鉄筋組み立て→枠組→コンクリート打設→養生を繰り返し、7月末には橋桁近くまで立ち上がる予定

* 現在利用していただいている自転車と歩行者用の橋は、仮設の橋ということで、安全確保

保に十分留意しながら進める予定です。橋の完成は当初の予定どおり平成20年12月中をめざしています。

※仮設歩道部分は道幅が狭いため、自転車は降りて通つてください。

を第一に考え、増水時は緊急に通行止めになることがあります。

防災無線や現地での案内に従っていただくようご協力をお願ひします。

十文字橋復旧対策協議会

開街づくり推進課

☎ 84-0321



酒匂川2号橋

今年度開成町側着手、説明会開かれる



6月12日（木）、下島児童館で、県松田土木事務所による酒匂川2号橋の工事説明会が開かれました。これは、大井町側からの工事に着手したことから開催されたもので、県松田土木事務所による説明会には、地域住民30人が出席し、事業概要、スケジュール、構造、工法、環境対策などの説明を受けました。出席者からは、特に施工中の騒音防止や安全対策への質問や要望が出され、県は「今後も住民のかたのご意見を聴き、安全確保に留意しながら進めたい」と結びました。

次回の説明会は、今年度着手される開成高架橋部分など

この事業の推進については、町も協力体制をとっています。

協力をお願いします。

開街づくり推進課

☎ 83-0331

6月12日（木）、下島児童館で、県松田土木事務所による酒匂川2号橋の工事説明会が開かれました。これは、大井町側からの工事に着手したことから開催されたもので、県松田土木事務所による説明会には、地域住民30人が出席し、事業概要、スケジュール、構造、工法、環境対策などの説明を受けました。出席者からは、特に施工中の騒音防止や安全対策への質問や要望が出され、県は「今後も住民のかたのご意見を聴き、安全確保に留意しながら進めたい」と結びました。

次回の説明会は、今年度着手される開成高架橋部分など

この事業の推進については、町も協力体制をとっています。

協力をお願いします。

開街づくり推進課

☎ 84-0321

この事業の推進については、町も協力体制をとっています。

協力をお願いします。

開街づくり推進課